

広島県商工労働局補助金等審査会 環境・エネルギー産業集積促進部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会  
環境・エネルギー産業集積促進部会

1 会議の概要

開催日時	令和6年8月23日(金)
開催場所	広島県庁本館 601 会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員	大学教授：2名、県職員：3名
議 題	令和6年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金（2次募集）
担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム環境関連産業海外展開グループ

2 審査基準及び結果等

補助要件を満たす3件を対象としてヒアリング審査を実施した。採択基準を満たし、委員の総合点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で補助採択候補事業として2件を選定した。

	評価項目					評価点		加点項目	合計	採択予定	
	採択基準(適・否)	申請者の新規性	社会的な意義	事業化の実現性	開発能力	計	平均				
配点	適・否	25	25	275	275	600	120	5	605		
申請者	A	適	7	19	165	169	360	72.0	5	365	○
	B	適	25	23	182	187	417	83.4	0	417	○
	C	否(※)	25	15	136	154	330	66.0	0	330	

(※) 審査要領において選外と定める下記基準のいずれか又は両方に該当する。

- ・評価項目「社会的な意義」、「事業化の実現性」又は「開発能力」のうち、同一項目について委員2名以上が「不可」と評価した案件。
- ・評価点の平均が満点の6割(72点)に満たない案件。

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多々ハードルはあるが、普及すれば効果は大きいと思われる。</li> <li>・海外を市場とし、国内を市場としない必然性について、再度検討の余地がある。</li> <li>・メタン低減に関する根拠が弱い。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄されていた素材の有効利用であり資源循環に資する点を高く評価した。</li> <li>・研究・開発の要素が強まるとなお良い。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金で行う試験が、事業化に直接結びつくものではないと考えられる。</li> <li>・技術的レベルは高いと考えられるが、具体的なターゲットや広島県への裨益が不透明である。</li> </ul>